

【様々な人権】（性的指向・性自認）

記号	番号	題名	内 容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
Z	24	セクシュアル・マイノリティ理解のために～子どもたちの学校生活とところを守る～	レズビアン/ゲイ/バイセクシュアル/インターセックス/トランスジェンダー、最近テレビで見聞きすることもあるし、聞くとところによると教室に1人くらいはいるというけど、もっと知るためにはどうすればいい？学校ではどうケアできるんだろう？そう悩んでおられる教育関係者や支援者の方にご活用いただける作品です。	共生社会をつくる”セクシュアル・マイノリティ支援全国	56	2009	DVD
Z	33	あなたがあなたらしく生きるために～性的マイノリティと人権～	「性的マイノリティ」について正しい理解を持ち、誰もが自分らしく毎日を過ごすため、立場の異なる一人ひとりが何をすべきか、また社会全体がどんな取り組みをすべきを分かりやすく解説している。	法務省人権擁護局（公財）人権教育啓発推進センター	30	2014	DVD
Z	34	考えよう！ハラスメントvol.2 LGBTを知ろう	LGBTの人たちを取り巻く現状を理解し、職場や教育現場でどのように具体的に取り組んでいけばよいのかを、イラストやデータ、事例などを豊富に盛り込んでわかりやすく解説したDVD。テーマをLGBTに絞った研修に使っていただける内容となっている。	アトリエエム(株)	20	2016	DVD
Z	36	誰もがその人らしく	主人公の周りにいたけれども見えなかったLGBT(性的少数者)の人たちが見えてくるストーリー。LGBTの人を別のカテゴリーの人と見ずに、自分と続く性のグラデーションのなかで、たまたまその位置にいる人々というふうに客観視できれば、LGBTの人たちへの見方もひろがり、誰もが生きやすい社会をつくる一歩になるのではないだろうか。	東映(株)	20	2017	DVD
Z	38	トランスジェンダー～美悠・彩・歩夢～	LGBTは知識だけでは本当の理解には届かない。当事者と出会い、向き合うことが求められている。トランスジェンダーたちの真の姿と共に、それぞれの家族や友人たちの思いを描いた。	フルーク映像(株)	32	2018	DVD
Z	39	見過ごしていませんか性的少数者（LGBT）へのセクシャルハラスメント	性について考えるとき、単純に「男性／女性」だけでなく、様々な切り口があり、性的マイノリティといっても、決してひとくくりにしてはできない。誰でもどこかで関わりがある、家族の話、親戚の話、友人の話、同僚の話である。	株式会社自己啓発協会	29	2017	DVD
Z	41	みんなで考えるLGBTs ①いろいろな性「好きになる性」	異性を好きになるか、同性・両性を好きになるか、あるいは誰にも恋愛感情を抱かないといった性的指向は、嗜好や志向とは異なる「指向」であり、本人が選択できるものではないと考えられています。本巻は、同性愛者（ゲイ、レズビアン）である生徒たちのドラマを見ながら、好きになる性の多様性について考える映像教材です。	(株)サン・エデュケーショナル	20	2017	DVD
Z	44	みんなで考えるLGBTs ②いろいろな性～心の性・表現する性～	体の性と心の性が異なるトランスジェンダー、男でも女でもない自認するXジェンダー、自身の性自認に揺れ動くクエスチョニング…、心の性、表現する性は実に多種多様です。近年は学校などにおける多目的トイレの設置や男女共用制服の整備など、徐々に教育現場でも取組まれてきています。自分が何者であるのかという戸惑いや揺らぎを経験する生徒たちの物語を見て、心の性や表現する性について考えます。	(株)サン・エデュケーショナル	19	2017	DVD
Z	45	みんなで考えるLGBTs ③性的指向と性自認（解説編）	統計によると、人口の約8%前後がLGBTsであると推定されています。これは30人のクラスでいえば約1～2人の生徒が該当するということになります。しかし、学齢期の早い段階での教育を待ち望まれているが、教員自身の正確な知識や理解が追いついていないという現状があります。本巻では、性の多様性を解説し、LGBTsを取り巻く社会の動きなども紹介し、その理解を深めます。	(株)サン・エデュケーショナル	22	2017	DVD
Z	46	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ①危機管理としての授業の必要性	LGBTsに関する事業の実現を目指し、学校としてできることを模索していく一人の教師の姿を描きます。取組に抵抗する同僚など実際の学校現場で起こりうる様々な困難も描き、その解決策を考え、問題が起こりつつも一歩前に進めるための多くのヒントを得ることができます。	(株)サン・エデュケーショナル	38	2020	DVD
Z	47	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ②当事者に寄り添うために～教育現場での落とし穴～	LGBTsの児童生徒のみならず彼らを取り巻く非当事者の児童生徒の存在やその関わりにあたって、教員が留意すべき心得や、学校での取組や授業展開の注意点などを物語仕立てで紹介します。教師の不適切な声掛けや授業展開がどのような深刻な事態をもたらす可能性があるか具体的に描く一方、目指すべき理想的な対応の一例も示します。	(株)サン・エデュケーショナル	38	2020	DVD

【様々な人権】（性的指向・性自認）

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
Z	49	レインボーストーリーズ LGBTsと社会 ③公共機関 誰もが安心して相談できる窓口へ	LGBTsの人々が福祉サービスを利用するとき、性的指向や性自認に関して対応する担当者の理解の欠如や知識の不足から、「相談しづらい」「意図せずカミングアウトを強要させられる」「発言に傷つく」といったトラブルが起こっている。この巻では、そうした具体例を描きながら、LGBTsの人々を含む誰もが安心して利用できる公的施設の対応を考える。また、公的施設のみならず、LGBTsの人々への接客や対応を実践的に学びたい企業や団体などでも活用できる。	(株) サン・エデュケーショナル	22	2022	DVD
Z	50	レインボーストーリーズ LGBTsと社会 ①職場～声に出せないハラスメント～	社会人が生活の中で多くの時間を過ごす職場。ここでは無自覚に発せられる言葉がLGBTs当事者を傷つけ、勤労意欲を低下させたり、メンタルヘルスを悪化させる原因にもなります。そうしたハラスメントをはじめ、トランスジェンダーが直面する就職活動の困難やトイレ問題、情報管理の甘さから起こる無自覚なアウティング、制服規程や同性パートナーを認める社内規程整備の必要性など、職場で起こりうる様々な事例を描き、その課題に取り組むためのヒントを示します。	(株) サン・エデュケーショナル	25	2022	DVD
Z	53	レインボーストーリーズ LGBTsと社会 ②家族～自分の子どもが当事者だったら～	同じ家に住み生活を共にする家族。最も近い存在だからこそ、本当のことが言えず苦しんでいるLGBTsの人々は数多くいます。性の多様性に関して実感を持った理解がない親が、ゲイである青年期の息子を追い詰めてしまう様子、親子が葛藤しながら関係を再構築する姿を描きます。	(株) サン・エデュケーショナル	21	2021	DVD
Z	54	レインボーストーリーズ LGBTsと社会 ④地域社会～ありのままで過ごせるコミュニティ～	トランスジェンダーの登場人物を中心に誰もが地域社会の一員として、居心地よく過ごすことができるための様々な地域の取り組みの工夫を描きます。「自分の暮らす街にLGBTsの人はいない」と考えがちな地域の中において、無意識の差別をしていないかを考えさせるドラマです。	(株) サン・エデュケーショナル	22	2022	DVD
Z	55	アニメ 多様性の芽をはぐくむ ②LGBTQ+	どの性を好きになるのか、どの性別で生きたいと思うのか…、性的指向や性自認は多様であり、他者の存在を否定することなく誰もが生きやすい社会が望まれること、自分は自分であっていい、といったメッセージを伝えます。	(株) サンエデュケーショナル	13	2024	DVD
Z	56	はじめて学ぶLGBTs ①男らしい色？女らしい色？（低・中学年向け）	小学校低～中学年の児童には「性的指向や性自認」の知識を教えるというよりは、世の中が作り出す男らしさや女らしさといった規範がすり込まれる前に、「人はみなそれぞれ違うこと、その違いがよいこと」「こうあらねばならない、ということとは決してない」といったメッセージを伝えることが大切です。アニメーションにより描かれた色鉛筆と人間との物語を通して、思い込みや偏見にとらわれることの無意味さに気づき、自分らしくあることの素晴らしさ、他者を尊重する姿勢を学びながら、多様性を肯定的に捉える感性の芽を育てる機会とします。	(株) サンエデュケーショナル	12	2020	DVD
Z	57	はじめて学ぶLGBTs ②好きになってはいけないの？（中・高学年向け）	本巻は、同性を好きになった児童の物語を通して、恋愛感情のあり方は決して画一的なものではなく多様であり、異性を好きになる人も同性を好きになる人もおり、いずれかに価値があるのではなくどちらも肯定的に捉えることができる構成にしました。また、小学校中～高学年には自分の性的指向や性自認に気付く児童も少なからず存在しており、そうした当事者児童の自己肯定感が阻害されることなく勇気づけられ、自尊感情を育めるように配慮しました。	(株) サンエデュケーショナル	22	2020	DVD
Z	58	パースディ	娘だと思っていた笑花（尊）から、自認する性が男性であると告げられた母・美由紀が、戸惑いながらも性の多様性を理解し、我が子の苦悩に向き合っていく姿を描く。性的少数者の存在と人権を考えるきっかけとなる感動作。	東映（株）／兵庫県・（公財）兵庫県人権啓発協会	37	2023	DVD
Z	59	カラコエの花 【個人貸出のみ】	高校の教室を舞台に、LGBTQ+に関する授業をきっかけに広がる噂と、それに翻弄される生徒たちの姿を描いた短編映画。当事者だけでなく周囲の視点にも焦点を当て、性の多様性への理解や配慮のあり方を問いかける。	中川組	39	2016	DVD